オーディオ実験室収載

LAN アキュライザーの活用(17)
－TANNOY Autograph MINI－

１．始めに

前報(16)に引き続き、TANNOY Autograph MINI における LAN アキュライザーの追加導入と Crstal EpL 導入後の効果を確認します。

２．LAN アキュライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴計画

1 個目の LAN アキュライザーの効果は LAN アキュライザーの導入(13)で報告しています。その後、LAN アキュライザーの導入(15)で報告しましたように 2 個目の LAN アキュライザーをルーターとスイッチングハブの間の LAN ケーブルに追加導入しました。

さらに仮想アース Crystal EpL の導入(2)で報告しましたように Crystal EpL をスイッチングハブに導入し、仮想アース Crystal EpL の導入(3)で報告しましたようにルーターには自作の仮想アースを適用しています。

今回、これらの効果を改めて TANNOY Autogrph MINI で確認することにしました。

駆動アンプは PX25 とします。

音源は STAGE+に限定して PC 経由で再生し、LAN アキュライザーの導入(13)で試聴したものとします。

STAGE+

ベートーヴェン　ピアノソナタ 30 番 31 番 32 番

マウリツィオ・ポリーニ（ピアノ）

バッハ　クリスマスオラトリオ

エリオット・ガーディナー指揮イングリッシュバロックソロイスツ

モンテヴェルディ合唱団

シューベルト　ピアノ五重奏曲「鱒」

リサ・パティアシュベリ（ヴァイオリン）他

バッハ　無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータ

シュロモ・ミンツ(ヴァイオリン)

３．LAN アキュライザーLACU-1 と Crstal EpL の試聴結果

前回の報告の LAN アキュライザーの導入(13) からどのような変化があったかに注目して聴いていきます。

ベートーヴェンのピアノソナタでは、「LAN アキュライザーなしでは TANNOY Autograph MINI のサイズからくる限界で、低音がこもりがちで、音の濁りがあります。LAN アキュライザーを装着しますと、いくぶん音が整理されて音の濁りも解消し、中高音は澄んできます。」と記載されています。今回は、低音のこもりは取れていませんが、サイズから考えられないくらいにバランスがとれ、スケール感もでてきました。
バッハのクリスマスオラトリオでは、「LAN アキュライザーなしでは TANNOY Autograph MINI のサイズからくる限界で、合唱は濁りティンパニはこもりがちですが、LAN アキュライザーを装着しますと、いくぶん音が整理されて改善がみられます。ソリストの声や弦楽器の質感は一層向上してきます。」と記載されています。今回は、合唱の分離は解消しませんが、ソリストの声や古楽器の弦や木管の質感が向上しています。
シューベルトのピアノ五重奏曲「鱒」では、「LAN アキュライザーなしでは、TANNOY Autograph MINI のサイズからくる限界で、チェロやコントラバスの量感は無理ですが、ヴァイオリンなどは艶のある音を聴かせてくれています。LAN アキュライザーを装着しますと、ヴァイオリンからチェロくらいまでは、弦楽器らしさが向上しますが、コントラバスやピアノの明瞭さは限界があります。」と記載されています。今回は、コントラバスの量感は無理としても、ヴァイオリンやヴィオラの質感は十分で、ピアノの中高音が美しく響きます。
バッハ無伴奏ヴァイオリンソナタ・パルティータでは、「LAN アキュライザーなしでも、本来の TANNOY Autograph MINI の特性とスピーカーアキュライザーの効果で、独特のヴァイオリンの艶のある音を聴かせてくれていますが、LAN アキュライザーを装着しますと、一層艶が載り、緻密な表現が出てきます。」と記載されています。今回は、さらに艶がのり、緻密でスリリングな表現も出てきました。

４．まとめ

LAN アキュライザーの追加導入と Crystal EpL の効果が、サイズ的に無理な部分がありますが、それ以外は TANNOY Autograph MINI で十分に確認されました。

以上